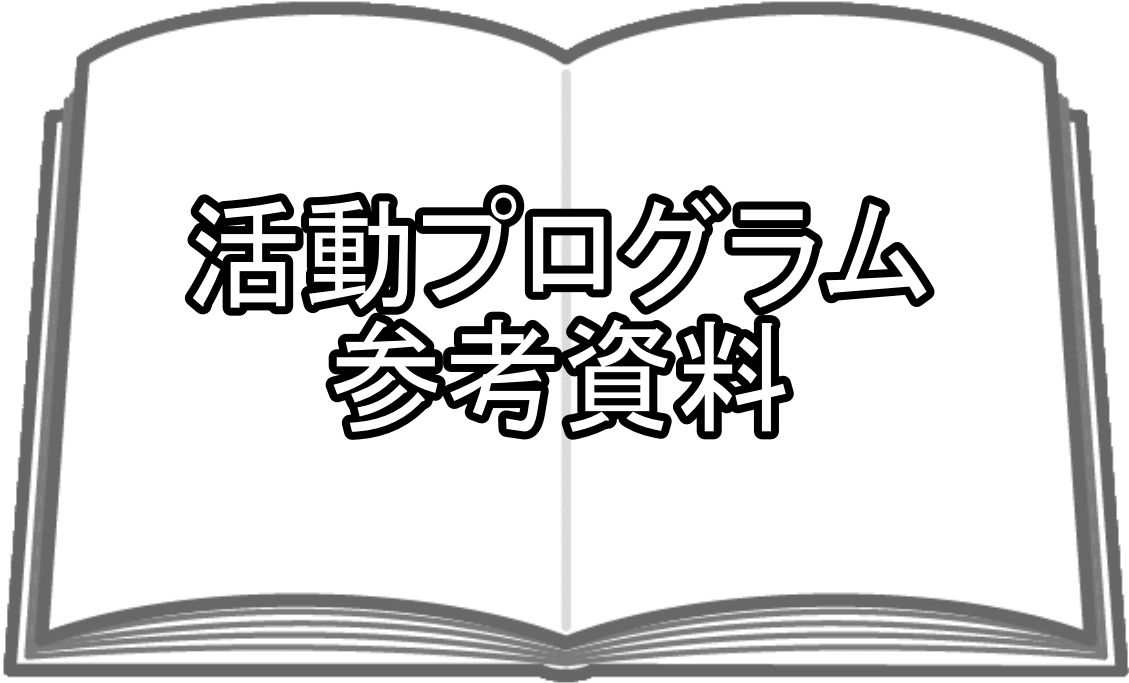




活動プログラム 参考資料

ウォークラリー **A** コース

彦根市荒神山自然の家

- (注) ①所要時間…上りコース約 30 分
下りコース約 60 分
② ☐ × …この標識のある道へは入らない
③ ☐ → …矢印の方向へ進む

（ぬまの方へは近よらないこと）

おうだんに気をつけましょう。
車のおとる大きな道です
から大きな道に出るとき
かならず止まりましょう。

止まれ

切りどおしです。
小山の上はコースの
わかれ道です。
まちがえないように。

⑤ 小山の上にあるポストの番号は？

⑥ コンクリートの建物の近くにあるポストの番号は？

公園の中の小道です。

⑦ 建物の表にあるポストの番号は？

トイレの横の階段を上がって
車道に出ましょう。

⑧ 階段の上でサインをもらおう。

かならず全員がそろっていること。

いろいろな木や草をゆっくり
観さつしましょう。

⑨ ふだのついた木の名前は
何でしょう。

唐崎神社の下とろぎの鳥居とりいの左の木を見ます。

車がよく通ります。
気をつけて子どもセンター
へ進みましょう。

案内板に沿って
荒神山公園の中を
通り、ゴールを目指
します。

ゴール

全員そろって
ゴールに向かい
ましょう。

自然の家

スタート

① クサリにつかまって
約100mのぼる。
がまんして、ゆっくりのぼり
ましょう。

いちれつになって
押し合わないように。

② けい示板の問いを
解答して右に進む。
正面に絵のようなけい示板が
あります。

ほそうされた林道です。
車に気をつけ右側を歩き
ましょう。

③ 展望台から見て正面に
ある島の名前は？
（手前の方）
〈島が見えないとき〉
展望台の横のポストの番号は？

④ 頂上でサインをもらう。
（広いアスファルト道）

車のくる大きな道です
から気をつけましょう。
目の前に広場が見えて
来たら右の方向に進み
ます。

班 名		タ イ ム	ゴ ー ル 時 刻	時	分	ペナルティー	位
			スタート時刻	時	分	1 問ちがうごとに3分	
			所 要 時 間	時間	分	ペナルティーとする。	
			設 定 時 間	時間	分	± 分	合計

ウォークラリーB

彦根市荒神山自然の家

(注) ①所要時間…上りコース約 40 分
下りコース約 50 分
② ☐ × …この標識のある道へは
入らない
③ ☐ → …矢印の方向へ進む



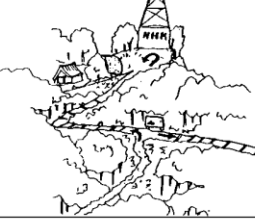
⑤ 展望台から見て正面にある島の名前は？
(手前の方)



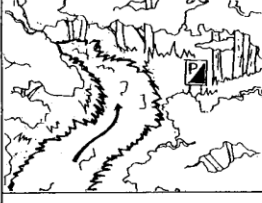
〈島が見えないとき〉
展望台の横のポストの番号は？

同じ道を少しもどり
山を下っていきます。

④ 頂上の荒神山神社で
サインをもらおう。



③ 広場から約400m山
道を登った所にある
ポストの番号は？



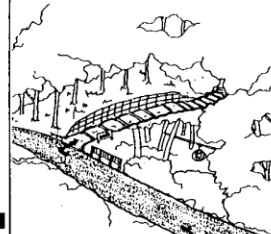
木かげの中の山道がつづきます。
自然をよく観察して進みます。

② 階段をのぼる。
広場のすみにある
ポストの番号は？



大きな道に出ると目の前にかいだんがあります。かいだんをのぼって左へ進みましょう。けしきのよい広場へです。

① 東へ約150m行った
所から山道をのぼる。



自然の家からキャンプ場の方へ
行って小屋の前からのぼります。

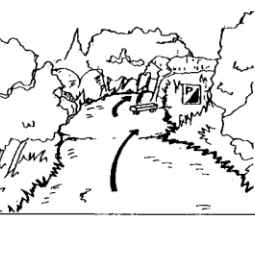
山道をのぼったりくだったり
して進みます。通るべきをよく
みて進みましょう。

⑥ 急な山道を登った
右側にあるポストの
番号は？



山道をくだって行きます。
すべらないようにゆっくり
進みましょう。

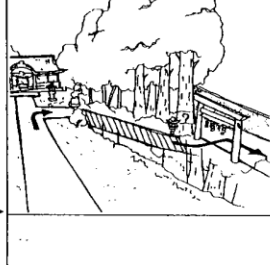
⑦ 大きな岩の近くにある
ポストの番号は？



ポストをしっかりさがし
ましょう。

唐崎神社の下^{とろろ}の鳥居^{とりい}の
左の木を見ます。

⑧ ふだのついた木の名前は
何でしょう。



橋はわたらないで、とてに
そってまっすぐ上流に進み
ます。
車がよく通ります。
気をつけて子どもセンターへ
進みましょう。

案内板に沿って
荒神山公園の中を
通り、ゴールを目指
します。

ゴール



自然の家

スタート



班 名	タ イ ム	ゴ ー ル 時 刻	時	分	ペナルティー	位
		ス タ ー ト 時 刻	時	分	1 問 ち が う ご と に 3 分	
		所 要 時 間	時間	分	ペナルティーとする。	
		設 定 時 間	時間	分	± 分	合計

ウォークラリー C

彦根市荒神山自然の家

(注) ①所要時間…上りコース約 30 分
下りコース約 50 分
② ☐ × …この標識のある道へは入らない
③ ☐ → …矢印の方向へ進む

③ 展望台から見て正面にある島の名前は？
(手前の方)

〈島が見えないとき〉
展望台の横のポストの番号は？

まわりへわった山道です。
みちじるいへをよくみて進む
とちよつて上に出られます。

② けい示板の問いを
解答して右に進む。

ほそうされた林道です。
車に気をつけ右側を歩き
ましょう。

① クサリにつかまって
約100mのぼる。

正面に絵のようなけい示板
があります。

がまんして、ゆっくりのぼり
ましょう。

スタート

自然の家

ゴール

全員そろってゴールに
向かいましょう。

⑫ 広場のすみにある
ポストの番号は？

鉄の階段をおります。そして山道を
進みましょう。

④ 頂上の荒神山神社で
サインをもらう。
(神社の石段をくだる)

⑤

車に気をつけましょう

⑥ この石でできている
物は何ですか？



⑦ 竹林の中にあるポスト
の番号は？

木かげの中の山道がつづきます。
自然をよく観察して進みます。

⑧ 木立の中にあるポスト
の番号は？

頂上で少し休みましょう。

⑨ 大橋利左衛門の碑のと
ころでサインをもらう。

車に気をつけましょう。

⑪ ふだのついた木の
名前は何でしょう？

⑩ 木立の中にあるポスト
の番号は？

石段を少し登り、右側にあります。

班 名	タイムム	ゴール時刻	時	分	ペナルティー	位
		スタート時刻	時	分	1問ちがうごとに3分	
		所 要 時 間	時間	分	ペナルティーとする。	
		設 定 時 間	時間	分	± 分	
		合計	時間	分		

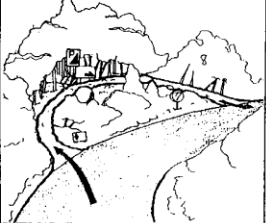
ウォークラリーD

彦根市荒神山自然の家

(注) ①所要時間…上りコース約 30 分
下りコース約 50 分
② × …この標識のある道へは入らない
③ → …矢印の方向へ進む

切りどおしです。
小山の上はコースのわかれ道です。まちがえないように。

⑤ 小山の上にあるポストの番号は？



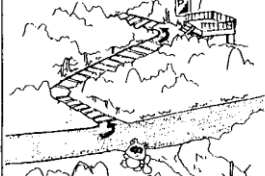
車のくる大きな道ですから気をつけましょう。目の前に広場が見えて来たらずの方向に進みます。

④ 頂上でサインをもらう。(広いアスファルト道)



まがりくねった山道です。みちしるべをよくみて進むとちょうど上に出られます。

③ 展望台から見て正面にある島の名前は？(手前の方)

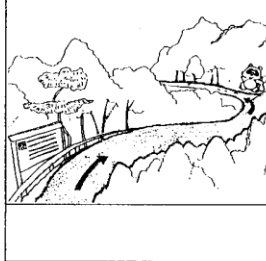


〈島が見えないとき〉
展望台の横のポストの番号は？

広い大きな道をくだります。右がわを歩きましょう。

絵のようなけい示板をみて答えをかいたら約10m進んで大きな道とさよならしましょう。

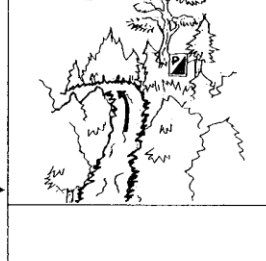
⑥ けい示板の問いを解答して、約10m進み左へ



山道をくだって行きます。すべらないようにゆっくり進みましょう。

山道をのぼったりくだったりして進みます。道しるべをよくみて進みましょう。

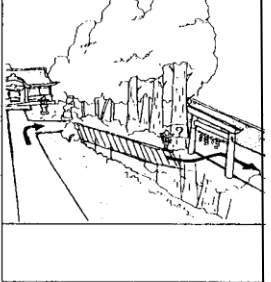
⑦ 急な山道をのぼった右側にあるポストの番号は？



山道から広い道に出てまっすぐ進みます。お宮さんの前へ出ます。

唐崎神社の下の方の鳥居の左の木を見ます。

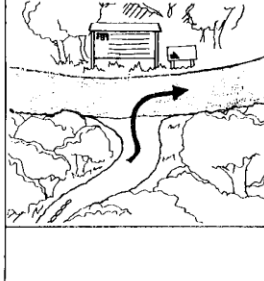
⑧ ふだのついた木の名前は？



橋はわたらないで、どてにそってまっすぐ上流に進みます。車がよく通ります。気をつけて子どもセンターへ進みましょう。

案内板に沿って荒神山公園の中を通り、ゴールを目指します。

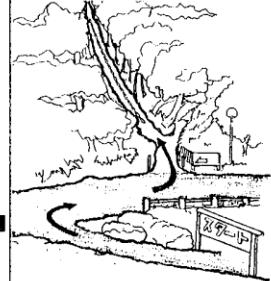
② けい示板の問いを解答して右に進む。



正面に絵のようなけい示板があります。

押し合われないように。いちれつになって。

① クサリにつかまって約100mのぼる。



がまんして、ゆっくりのぼりましょう。



自然の家

スタート



班 名		タ イ ム	ゴ ー ル 時 刻	時	分	ペナルティー	位
			ス タ ー ト 時 刻	時	分	1 問 ち が う ご と に 3 分	
			所 要 時 間	時間	分	ペナルティーとする。	
			設 定 時 間	時間	分	± 分	
			合 計	時間	分		

ウォークラリーEコース

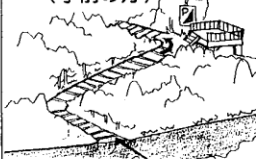
彦根市荒神山自然の家

(注) ①所要時間…上りコース約 40 分
下りコース約 50 分
② ☐ × …この標識のある道へは
入らない
③ ☐ → …矢印の方向へ進む



たぬきの看板にです。

⑤ 展望台から見て正面にある島の名前は？
(手前の方)



〈島が見えないとき〉
展望台の横のポストの番号は？

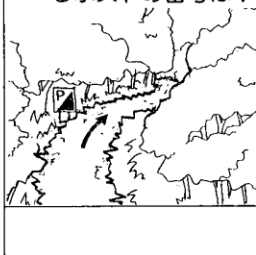
山道をのぼって行きます。

⑥ 頂上の荒神山神社で
サインをもらう。



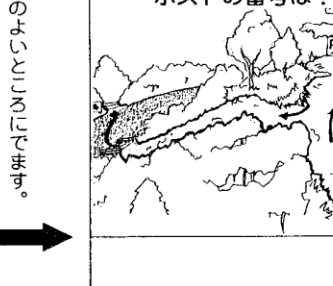
同じ道を少しもどって
右へ行きます。

⑦ 頂上から約150m山
道をくだった所にあ
るポストの番号は？



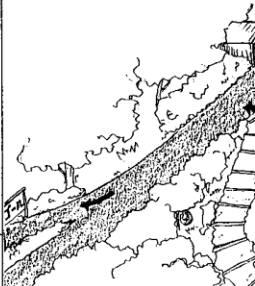
木かげの中の山道が見つきます。
自然をよく観察して進みます。

⑧ 広場のすみにある
ポストの番号は？



階段をおりて大きな道をわたり、
さらにくだっていきます。

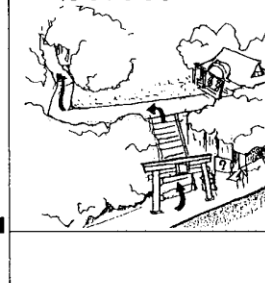
⑨



キャンプ場から自然の家の方へ
進みます。

とうき 唐崎神社の下鳥居の右の
木を見ます。

② ふだのついた木の名前は
何でしょう。



橋はわたらないで、とてに
そってまっすぐ下流に進み
ます。
車がよく通ります。
気をつけて唐崎神社へ
進みましょう。

案内板に沿って
荒神山公園の中を
通り、唐崎神社へ
進みます。



スタート

自然の家

ゴール



これで問はいは終わりです。
全員そろってゴールに向かい
ましょう。

班 名		タ イ ム	ゴ ー ル 時 刻	時	分	ペナルティー	位
			ス タ ー ト 時 刻	時	分	1 問 ち が う こ と に 3 分	
			所 要 時 間	時間	分	ペナルティーとする。	
			設 定 時 間	時間	分	± 分	合計

ウォークラリー

彦根市荒神山自然の家

コース

(注) ①所要時間…上りコース約70分下りコース約20分

② ☐ X …この標識のある道へは入らない

③ ☐ → …矢印の方向に進む

(ぬまの方へは近よらないこと)

車に注意して、
道路を横断すること

！① 看板に注意しながら進み、山道の途中から右へ曲がり、山を下る。

③ 道路を横切りサインをもらう。

公園の小道を歩きます。

④ アスレチック近くにあるポストの番号は？トイレ近くです。

公園の中の小道です。

⑤ 木製の建物の近くにあるポストの番号は？左側にあります。

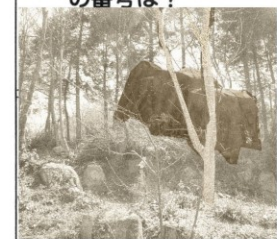
おうだんに気をつけましょう。

止まれ

車が通ります。
速度が速いので十分注意をしましょう。

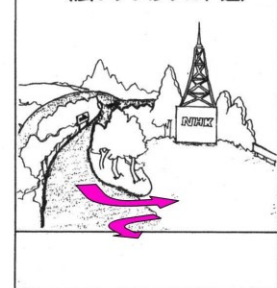
！② 看板に注意しながら進む。道路を渡り、山頂へとのぼる。分かれ道があるので間違えないように。

⑥ 大岩の裏にあるポストの番号は？



車がくる大きな道です。気をつけて歩きましょう。目の前に広場が見えてきたら左に進みます。

⑦ 頂上でサインをもらう。(広いアスファルト道)



まがりくねった山道です。道しるべをよくみて進み展望台へ行きましょう。

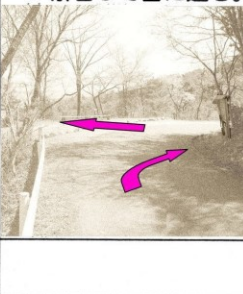
⑧ 展望台から見て正面にある島の名前は？(手前の方)



〈島が見えないとき〉
展望台の横のポストの番号は？

！③ ほそうされた道路を左に曲がります。車に気をつけましょう。

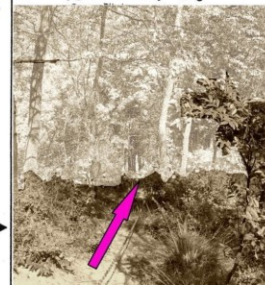
⑨ けい示板の問いを解答して左に進む。



左側に けい示板があります。

要注意

⑩ クサリにつかまって約100m下る。



がまんして、うしろ向きでゆっくり下りましょう。

子どもセンターに向かってグラウンドの横を進みましょう。



スタート

自然の家

ゴール

全員そろってゴールに向かいましょう



班 名	タイム	ゴール時間	時	分	ペナルティー	位
		スタート時間	時	分	1問ちがうごとに3分 ペナルティーとする。	
		所要時間	時間	分		
		設定時間	時間	分	土分	
		合計	時間	分		

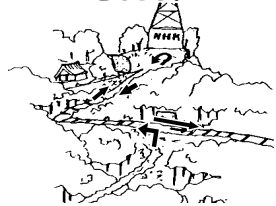
ウォークラリーB

彦根市荒神山自然の家

短縮コース

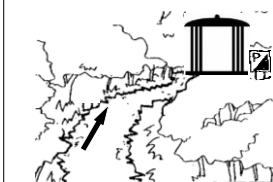
- (注) ①所要時間…上りコース約30分
下りコース約30分
② ☐ × …この標識のある道へは入らない
③ ☐ → …矢印の方向へ進む

③ 頂上の担当者にサインをもらう。



分かれ道を左に曲がって進もう。

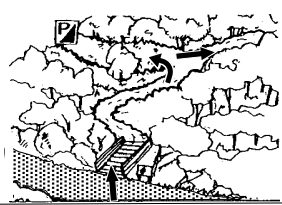
④ 分かれ道から約400mのぼったところにあるポストの番号は？



木かげの山道がつづきます。自然をよく観察して進みましょう。

今きた道を少しもどって、さらに山道をのぼります。道しるべをよく見ましょう。

② 分かれ道の先にあるポストの番号は？



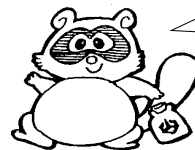
階段をのぼって左へ進みましょう。景色のよい広場へ出ます。

④ 展望台から見て正にある島の名前は？(手前の島)



《島が見えないとき》
展望台の横にあるポストの番号は？

たぬきの看板があります。

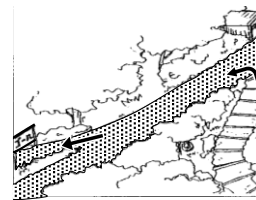


たぬきの看板を目印に林道を左に曲がりくだりましょう。

車に気を付けてね!

赤い階段まできたら、丸太の階段をくだる。

階段を下りたら、左に曲がって進みます。



これで問題はおわりです。全員そろってゴールに向かいましょう。



自然の家

スタート



班名	タイム	ゴール時刻	時	分	ペナルティー 1問ちがうごとに3分ペナルティーとする。	位
		スタート時刻	時	分		
		所要時間	時間	分		
		設定時間	時間	分		
					士 分	所要時間 時間 分

ウォークラリーE

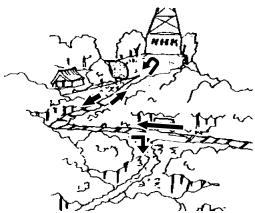
彦根市荒神山自然の家

短縮コース

(注) ①所要時間…上りコース約30分
下りコース約30分
② ☐ × …この標識のある道へは入らない
③ ☐ → …矢印の方向へ進む

きた道をもどしましょう。
分かれ道を右に曲がって
進みます。

③ 頂上の担当者にサイン
をもらう。



分かれ道をまっすぐ
進みます。

② 展望台から見て正面
にある島の名前は？
(手前の島)



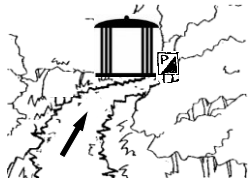
《島が見えないとき》
展望台の横にあるポストの番号
は？

たぬきの看板を目印に道
向かいにある丸太の階段
をのぼる。



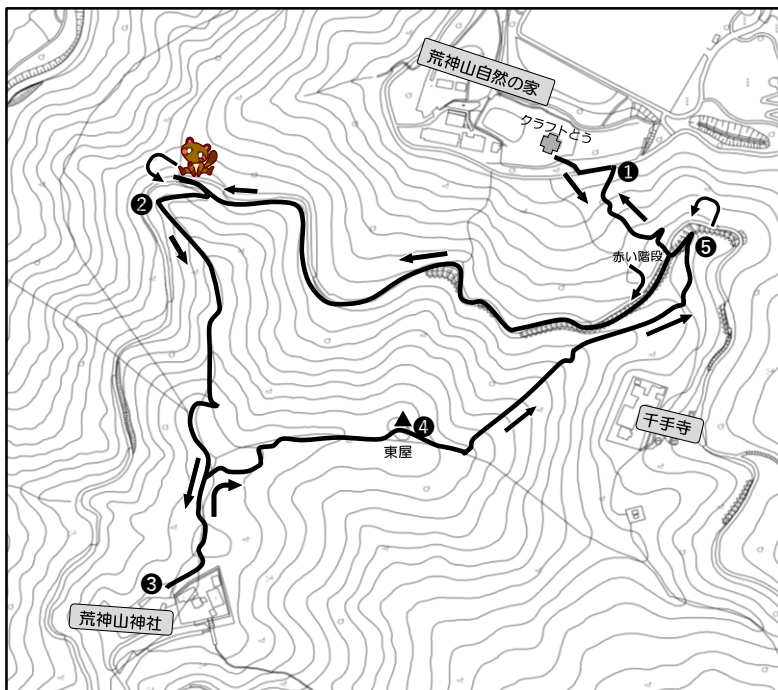
たぬきの看板があります。

④ 頂上から約150m山
道をくだった所にある
ポストの番号は？



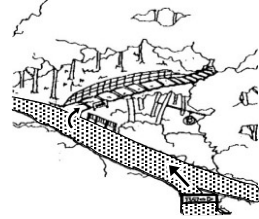
木かげの山道がつづきます。自然
をよく観察して進みましょう。

山道をくだると分かれ道があります。
右に進むと展望のよいところにでま
す。



赤い階段の手前を右に曲
がり、車などに気をつけ
ながら林道をのぼる。

① 東へ約150m行っ
た所から山道をのぼる。



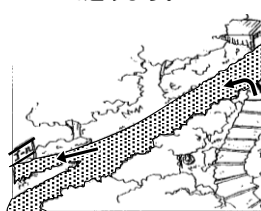
クラフト棟の前のさかをのぼったら
左へ曲がります。

⑤ 分かれ道の先にある
ポストの番号は？



景色を見たら引き返し、赤
い階段を下りて大きな道を
わたり、さらに下っていき
ます。

階段を下りたら、左に曲
がって進みます。



これで問題はおわりです。全員そ
ろってゴールに向かいましょう。

ゴール



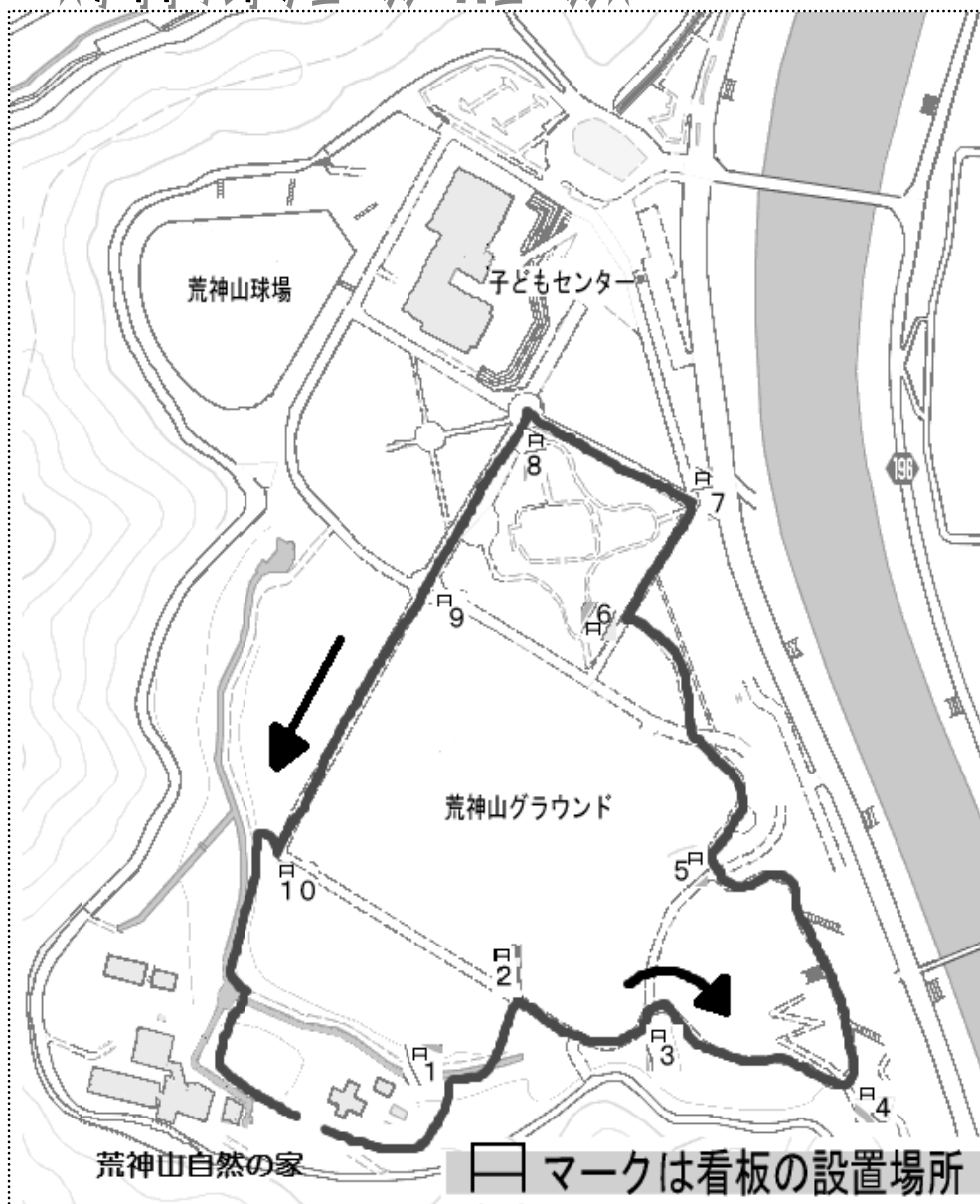
スタート



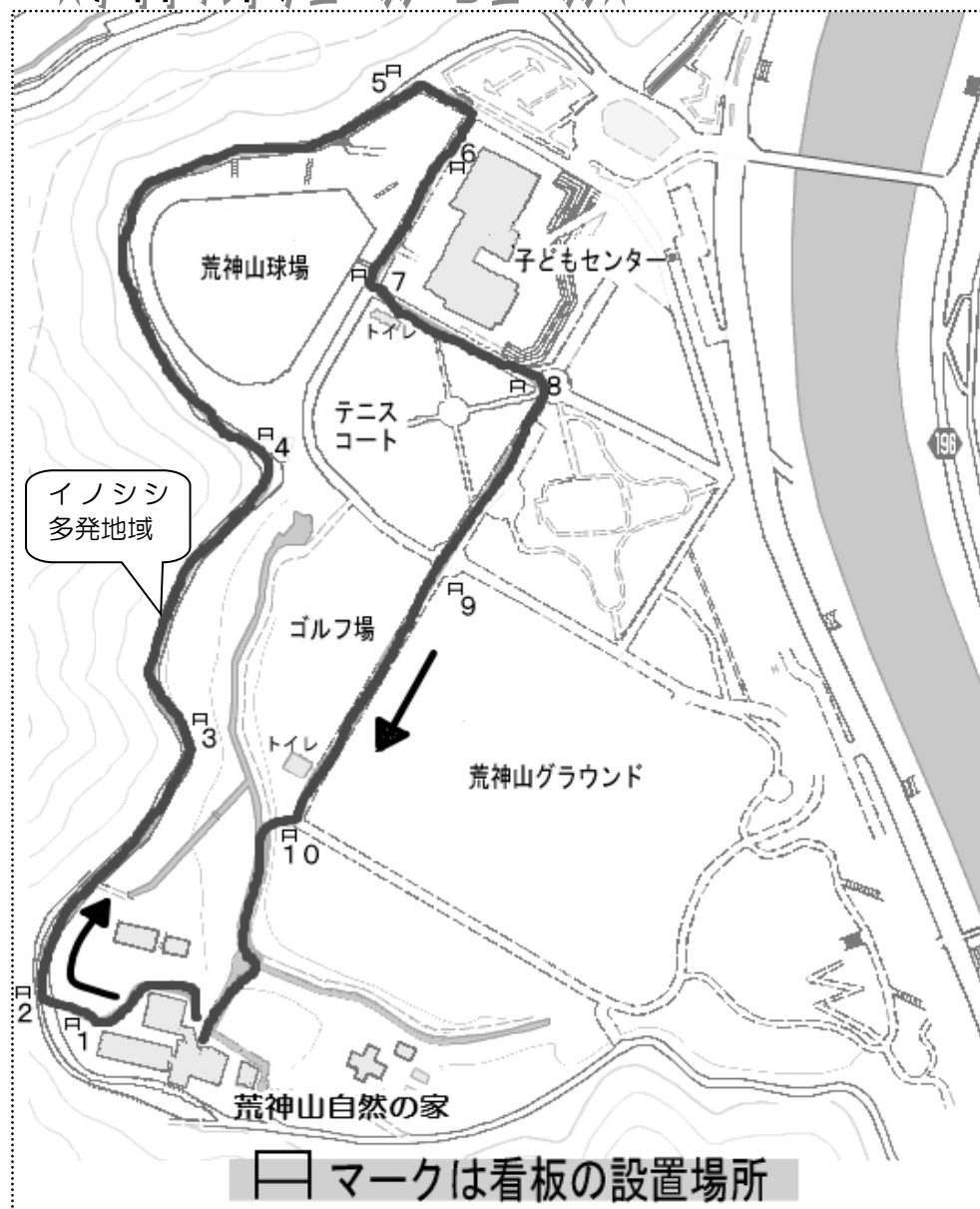
自然の家

班 名	タイム	ゴール時刻	時	分	ペナルティー	位
		スタート時刻	時	分		
		所要時間	時間	分	1問ちがうごとに3分ペナルティーとする。	
		設定時間	時間	分	士 分	

★ナイトハイクコース Aコース★



★ナイトハイクコース Bコース★



Bコースは、イノシシ対策・対応のため、現在利用不可としています。

樹木散策に出かけよう



地図を手がかりにして①～⑩の樹木を見つけましょう。
見つけた樹木を観察して、右にある特徴A～Jのどれにあてはまる特徴があるのか見つけましょう。



①クスノキ

②モミジ

③スギ

④ヒノキ

⑤サルスベリ

⑥クロガネモチ

⑦スタジイ

⑧カイヅカイブキ

⑨サクラ

⑩マツ

特徴

A: ヒノキ科の常緑広葉樹。枝は密に分かれ、斜めに旋回して伸びるため巻き上がるようにして生育。炎が燃え上がるような樹形となる。

B: バラ科の落葉広葉樹。春にはピンク色の花を咲かせる。交配をして様々な品種がある。

C: ムクロジ科の落葉広葉樹。秋には葉が赤や黄色に色づき葉が5～9つに切れ込みがある。

D: ミソハギ科の落葉広葉樹。樹皮は茶褐色で薄く剥がれ落ちて白い雲母状に残りなめらか。

E: ヒノキ科の常緑針葉樹。天に向かってまっすぐ伸びることから「まっすぐな木」が変化してこの名前になったと言われている。

F: マツ科の常緑針葉樹。縁起の良い木として大切にされてきた。

G: ヒノキ科の常緑針葉樹。昔この木をこすり合わせて火をおこしたことから名前が付けられた。葉の裏に気候帯と呼ばれる白い線がアルファベットの「Y」に見える。

H: ブナ科の常緑広葉樹。あつい葉をびっしり付けてこんもりとした樹形になる木。

I: モチノキ科の常緑広葉樹。若い枝や葉柄が黒紫色であることや、葉が乾くと鉄色になることから名付けられた。あまり目立たないが6月になると、その年に伸びた葉の付け根に花をさかせる。

J: クスノキ科の常緑広葉樹。濃い緑色の葉を茂らせ、枝を広げてこんもりとした樹形になるのが特徴。寿命が長い木で年月をかけて幹の太い巨木に育つ。

葉っぱの名前を当ててみよう

観察したことを思い出しながら、写真と樹木の名前を線で結びつけよう！



•

•

クスノキ



•

•

モミジ



•

•

スギ



•

•

ヒノキ



•

•

サルスベリ



•

•

クロガネモチ



•

•

スタジイ



•

•

カイヅカイブキ



•

•

サクラ



•

•

マツ

【例１】＊はじめのことば

今、ここに木が燃え始めました。この太い木は、はじめは一粒の種子から生まれた小さな木でした。暖かくて、明るい太陽の光を受けて種子から芽生えしました。小さな木は、小さな葉に太陽の明るさと、暖かさを受けてぐんぐんと伸びていきました。

１年、２年、３年、５年、１０年、２０年、３０年、５０年と、毎日暖かい、明るい太陽を受けて、たくさんの葉っぱ、たくさんの枝を作り、木の中に太陽のエネルギーを蓄えてきました。

今、ここに炎となって燃えているのは、長い間ためてきた太陽のエネルギーなのです。太陽もこの炎のように燃えています。

燃えているのはこの木だけではありません。君たちのからだの中でも太陽は燃えているのです。お母さんも、お父さんも、いつも暖かいのは、心の中で太陽が燃えているからです。

じっとこの炎を見つめましょう。この炎は太陽の贈り物です。これから楽しいキャンプファイヤーができるように、明るく、暖かくしてくれます。

さあ、みなさん、楽しくキャンプファイヤーを始めましょう。太陽の贈り物の火を囲んで。

【例２】＊はじめのことば

今、トーチによって運ばれた火は中央の井桁に点火されました。この炎をじっと見つめましょう。

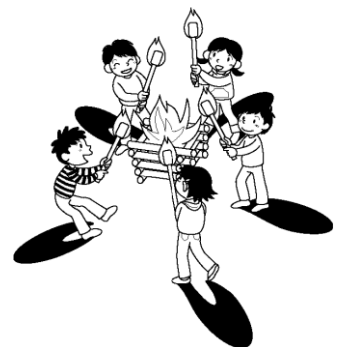
昔の人は火を大切にしました。それは、料理をしたり、灯りとしたりして、生活に欠くことができなかったからです。また、火をすぐに点けることができなかったので、家々には火を祭る祭壇がありました。この祭壇から毎日火をもらい、生活をしていたのです。

ですから、火が消えることは家が滅びてしまうことでもありました。

また、火は恐ろしいものです。取り扱いを間違うと、またたく間に野原や森や林を焼きつくしてしまいます。家も一瞬にして焼きつくしてしまいます。

ですから、私たちは、この火を大切に、正しく使わなければなりません。

今日は、この炎の光で、楽しいキャンプファイヤーを始めましょう。



【例3】＊はじめのことば

今、女神が運んでくれた炎が、中央の井桁に点火されました。この炎を少しの間、じっと見てみましょう。

キャンプは、ファイヤーに始まりファイヤーに終わると言われています。それくらい火は、私たちの生活に欠くことのできないものです。その火が、私たちにいつも、こんなことを語りかけてくれます。

それは、協力、団結、組織、そして愛です。

「協力」。この炎は、1本の薪だけで燃えることはできません。お互いがお互いを燃やし、協力し合って大きな炎となっています。

「団結」。このキャンプファイヤーの井桁を見てみましょう。それぞれの薪が崩れることなくしっかり結びついています。そして、井桁は空気が通りやすく、薪が燃えやすいように組織的に並べられているので、よく燃えるのです。これが「組織」です。

最後に「愛」です。炎は明るさと暖かさを、私たちに与えてくれます。そして、私たちの行動の行く先々まで導いてくれます。また、人を暖め、やさしく包んでくれます。この暖かさとやさしさは、自然を愛し、人の生命を愛することに通じると思います。だから、私はこの炎から愛という言葉の思い浮かべます。

私は、キャンプファイヤーを行うたびに、協力、団結、組織、愛という4つの言葉を思い浮かべ、生活の教えとして、今後も大切にしていきたいと思っています。

今日は、この炎を囲んで、楽しい集いを催したいと思っています。

【例4】＊おわりのことば

ここで、…で誓ったことを書きしるした誓いの言葉を炎で燃やし、その誓いを固いものにしたいと思っています。

最初に指導者(指導者が誓いの紙を燃やす。しばらくじっと見てから、もとの席へ)、続いて班長さん、〇〇係、〇〇係、…〇〇係の順にお願いします。

班長さんどうぞ。(以下、順に係の名呼ぶ)

最後に、まだ燃やしていない人がいましたら、どうぞ。

しばらく、この炎をじっと見つめましょう。

今、みなさんが誓った言葉は、すべて炎で燃やされました。みなさんの誓った言葉は、炎の中にあります。この炎は誓いの言葉を燃やしました。しかし、その言葉は、消えてしまうのではなく、みなさんの心の中で燃え続けるために燃やしたのです。このことを忘れずに、これからも人生を歩んでほしいと思います。

基本『飯ごうでご飯をたく』

1. 計って研ぐ

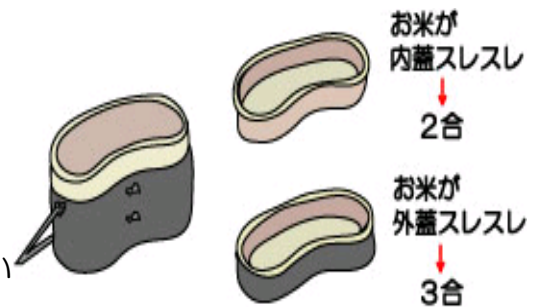
計量カップを使わなくてもいいように、お米は飯ごうのふたで計量することができる。内ぶたで2合、外ぶたで3合、最高4合まで炊けるようになっている。

飯ごう本体に目盛りが2本入っているので目安にする。（目盛りより少しだけ多めがいい）
下の目盛り → 2合

上の目盛り → 4合 ※3合の時はその中間ぐらいにする。

お米の研ぎ方は炊飯器と同じで、水を入れて手早くかき回し、ゴミなどがあったら取り除く。また、飯ごうのふたをしたまま上下・左右に強く振るという研ぎ方もある。こうすれば、水を換えて洗うよりも早いし、節水にもなる。そして、火にかける前に、必ず水に30分つけておく。

ちなみに「無洗米」を使えば、研ぐ手間も省け、環境にも優しい。



2. ご飯を炊く

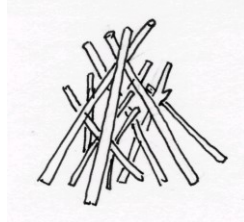
(1) 火をつける

火は「つけるもの」ではなく「育てるもの」という考え方で、小さな火から徐々に大きな火にしていく。（いきなり太い薪に火はつかない）



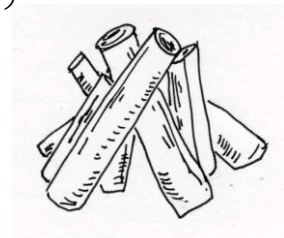
①小さな火

かまどの真ん中に丸めた新聞紙やよく乾いた落ち葉や木の皮を置いて、その上に割り箸くらいの細い枝を立てかけるように組んで、新聞紙に火をつける。そうっと息を吹きかけて細い枝に火がつくようにする。



②中くらいの火

細い枝にしっかり火がついたら、それよりも太い（ぼうきの柄ぐらいまで）を上に入れてかけて、火を大きくしていく。たくさん空気が入るようにすき間をあけて組むことが大切。



③大きな火

火が大きくなったら、さらに上に太い薪を立てかけて、うちわ等であおぎながら、持続力のある力のある火にする。火を大きくしたい時は薪を足し、小さくしたい時は薪を数本横にどけるか、薪を寝かせるようにするとよい。

(2) 飯ごうを火にかける

飯ごうに外ぶただけをかぶせて火にかける。

コツは、昔から言われているように、「はじめチョロチョロ、中パッパ、赤子泣いてもふたとるな」。水が沸騰するまではチョロチョロ（弱火）、沸騰したら強火にする。飯ごう全体に均等に熱が伝わるように、炎が飯ごうを包むくらいの火加減がいい。吹きこぼれて来たら、石などを乗せてふたを押さえる。飯ごうから白い糊状の



湯「おネバ」が流れ出すと炊きあがりに近い。弱火にして炊きあがりの瞬間をうかがう。ふたの上に小枝や割り箸をあてて、ぐつぐつという振動が伝わらなくなったら炊き上がりである。心配ならふたをあけて飯ごうの中を確認してもいい。（ふたをあけてもご飯は上手に炊ける。）

（３）蒸らす

炊きあがったら飯ごうを、ふたをしたまま火からおろし、10～15分ほど蒸らす。この時に飯ごうについた煤（すす）を新聞紙などでこすって落としておくと後始末が楽になる。

<炊き方の目安>



はじめチョロチョロ



中パッパ



シューシューふいても
ふたとるな



おねばが出たら
弱火にね

3. 野外炊事のウラ技

（１）洗い物を楽にするウラ技

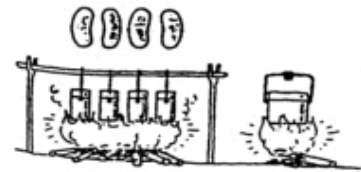
飯ごうや鍋ややかんの外側に、クレンザー（磨き粉）を水で溶いたものを火にかける前に塗っておくと、煤（すす）がついても楽におとせる。

（２）ごはんに芯が残った時のウラ技

飯ごう炊飯で失敗して、ごはんに芯が残ってしまった時は、少量のお酒かお湯を入れて少し炊くと芯がなくなる。

（３）飯ごうをたくさん並べて炊く時のウラ技

右図のように背と背、腹と腹を合わせて並べると、飯ごうと飯ごうの間に火が入りやすく、上手に炊ける。



（４）新聞紙がない時や雨の日にうまく火付けをするウラ技

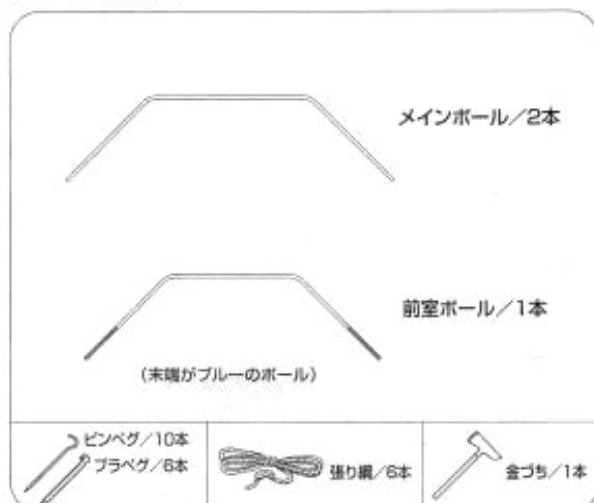
薪についている木の皮をめくって、手でもみほぐして柔らかくするといい炊き付けになる

■■■野外炊事の注意点■■■

- 飯ごうのふたや底を棒などでたたいてはいけない。
- ナタ・包丁などの刃物の使い方には注意する。
- ナタを使用したり火を扱うときは、軍手をはめて作業する。
（ただし、ナタを持つ方の手には軍手をはめないこと）
- 火を燃やしたり沸騰した湯を扱うときは、あやまって火傷をすることのないように注意する。
- たき木集めの時、ムカデやハチ等に注意する。
- 自然を大切にして、立木などを切ったり傷つけたりしない。

組み立て方法

フレーム明細図

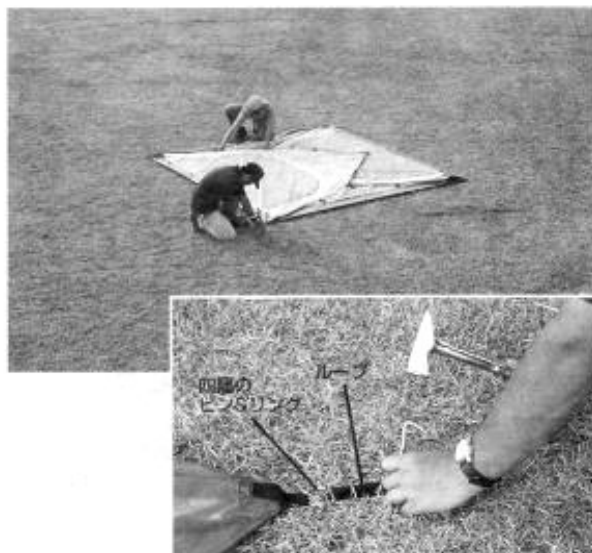


① パーツを確認します。

内幕、外幕と上記のパーツがセットされているか確認します。

☐フレームはあらかじめ、肩部にバンド(曲げ)加工が施されています。

泥除け用固定ピンは付属しておりません。
別途、お買い求めください。



② 内幕を広げ、ピンで固定します。

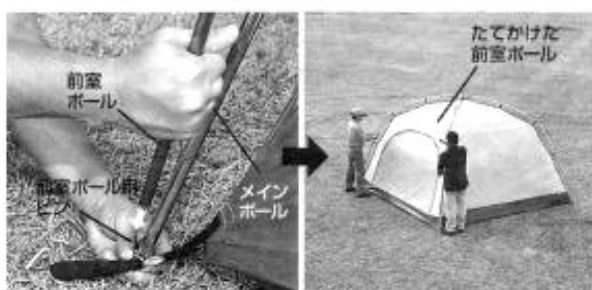
テントサイトを選び整地します。
内幕に空気が入りやすいように、入り口ファスナーを1/3程開け、グランドシートがシワにならないように地面に広げます。
次に四隅のピン&リングに付いているループをピンベグで固定します。

☐内幕はピン&リング(金属製の部分)が付いている箇所がグランドシート(地面に接する面)の四隅です。



③ フレームを固定します。

内幕四隅のピン&リングに2本のメインポールが交差するようにそれぞれ固定します。
ポール下端部にピンに差し込んでください。
出入口側(前室側)のピンにはメインポール用ピン、前室ポール用ピンがあります。大きい方のピンにメインポールを差し込んでください。
(小さい方のピンには前室ポールを④の工程で差し込みます。)



④ フックをフレームに固定します。

まず、頂上部に付いているプラスチックフックを固定し、(交差している上側のフレームに固定します。)次にその他のフックを順番に固定していきます。

前室ポールを前室ポール用ピン(小さい方のピン)に差し込み、一時的に内幕に立て掛けてください。

☐フレームの肩部に固定するフックは一番テンション(張力)がかかります。一方の手でフレームを押さえ込んで、もう一方の手でフックを固定すればラクです。



5 フライシートをかぶせます。

フライシートの前後を確認し本体にかぶせます。
(前室ポールはまだ一時的に本体に立て掛けておきます。)

フライシートの縫い目とフレームが合うように整えた後、
内幕四隅のリングに、フライシート裾部についているSフックを
引っ掛け、固定してください。
裾部のフックはラダーロックにより長さの調節ができます。
フライシートに均等にテンションが掛かるように調節してください。



6 フライシートを固定します。

フライシート前後のファスナーを開け、フライシート内側のマジック
テープ(メインフレーム部分)をフレームに巻き付けてください。

次に、本体に立て掛けてあった前室ポールを前方に押し出し、同様に
マジックテープで固定してください。

フライシート側面、及び前室・後室部分をピンベグで固定します。
形を整えながらゴムコードのループをピンベグで固定してください。

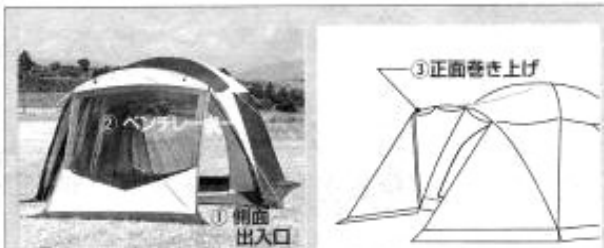


7 テントを補強します。

テントの前後と側面に取り付けられた6カ所のループに張り綱を取り付け
ます。端をブラベグで固定してから自在で張り具合を調節してください。

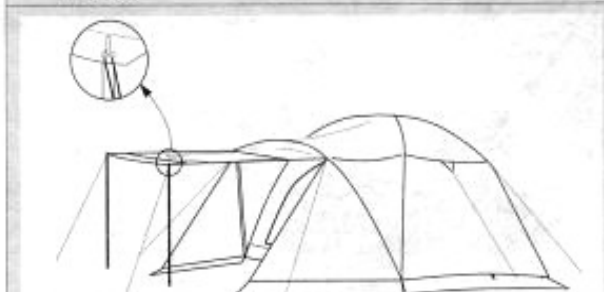


強風に備えて、マジックテープと張り綱は必ず使用してください。
また張り綱をしっかり張っていてもテントが大きく歪んでしまうような
強風時には、速やかにテントを撤収してください。



■前室機能の説明

- ① 出入口/前室正面はベグで固定したままにして、前室側面から出入りす
れば、雨の日などに便利です。
- ② 換気/前室正面のベンチレーターは夜間や暖かい日の換気に便利です。
- ③ 正面巻き上げ/前室正面は夏場など、より風を通したい時に巻き上げるこ
とができます。



■前面の張り出し

フライ正面は別売りの張り出し用ポールを使って張り出すことができます。
コーナーのハトメにポールの先端を差し込み、張り綱で張り出します。



風の強い時や雨天には張り出さないでください。特に雨が張り出しに溜まると
テントを破損する原因になりますのでご注意ください。

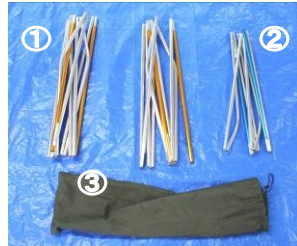
テントのかたづけ方

①用具（備品）がそろっているか確認します。



ペグ袋の中味を点検します

- ①スチールペグ 10本 ②ブラペグ 6本
③引き綱 6本 ④ハンマー 1本 ⑤ペグ袋



ポール袋の中味を点検します

- ①メインポール（両端がオレンジ）2本
②前室ポール（両端が青）1本 ③ポール袋



最終的にこれだけのものをバックに入れます

- ①グランドシート（インナーテント）1つ ②フライシート（袋）1つ ③ポール袋 ④ペグ袋 ⑤テントバック1つ

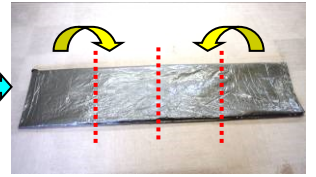
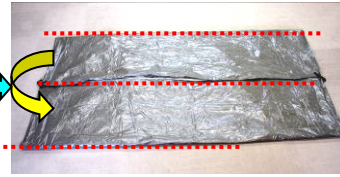
②グランドシート（インナーテント）をたたんでバックに入れます。



①テントの中のゴミをとって、写真のように広げます。*この時、出入り口のファスナーを3分の1ほど開けておきます



②シートの中央（真ん中）に向けて折ります。もう片方からも折ります。



③半分に折ります。



⑥真ん中にポール袋をおいて、巻き込みます。
⑦バックに入れます。



⑤さらに真ん中に向けて折ります。



④真ん中に向けて両側から折ります。

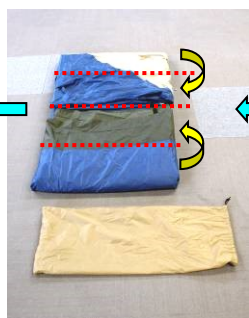
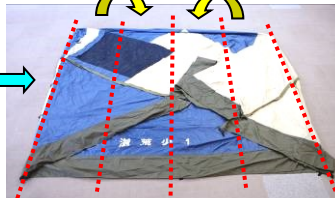
③フライシートをたたみます。



①半分に折って上げます。
*滋荒少〇が正面に来るように



②両側のいびつな形の部分を中側に折って、全体が長方形になるようにします。



③さらに半分に折って、袋に入る幅にします。

④今度は縦方向に折っていき、小さくたたんでいきます。（空気を抜きながら）



⑤フライシートを袋に入れたら、端から巻きながらもう一度空気を抜きます。

⑥グランドシートの上にペグ袋を乗せ、その上にフライシート袋を入れます。

⑦中のものを挟みこまないように、気をつけてジッパーを閉じて完了！